

MagicInfoPro改善版機能紹介

MagicInfo Pro現行バージョンからの改善内容を紹介します。

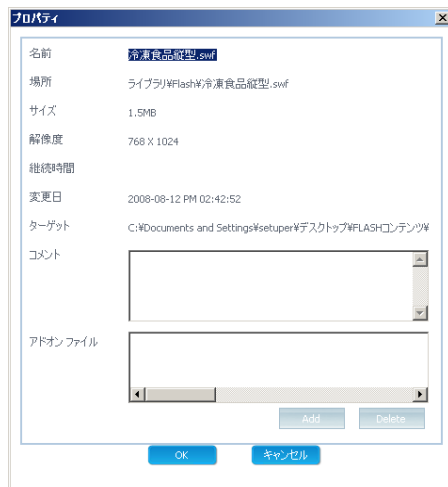
- 1) 改善版を使用するには、サーバー版及びクライアント版を各々アップデートが必要があります。
サーバー版 : お使いのパソコンにインストールされているソフトウェアです。
クライアント版 : 液晶ディスプレイ320MXNに内蔵されているソフトウェアです。
- 2) 現行バージョンと新バージョンの互換性は以下のようになっています。
新バージョンサーバー版 新バージョンクライアント版 : OK
新バージョンサーバー版 現行バージョンクライアント版 : NG
現行バージョンサーバー版 新バージョンクライアント版 : OK
- 3) したがって、同一運用環境の中で新バージョンと現行バージョンが混在する場合は現行バージョンのクライアント版をアップデートする必要があります。
- 4) サーバー版のアップデートについては、当ホームページより該当するソフトウェアをダウンロードして実行してください。クライアント版のアップデートについては、販売店及び当社サービスセンターとご相談頂きますようお願いいたします。

1. ライブラリ機能の改善:

FLASHコンテンツ等で、ひとつのコンテンツが複数のファイルから構成されるような場合、主となるファイルに対し、付随する複数のファイルをアドオンファイルとして追加することができます。

付随するファイルをライブラリに追加したい主となるファイルをライブラリメニューの中で、マウスで選択します。右クリックで、“プロパティ”を選択します。

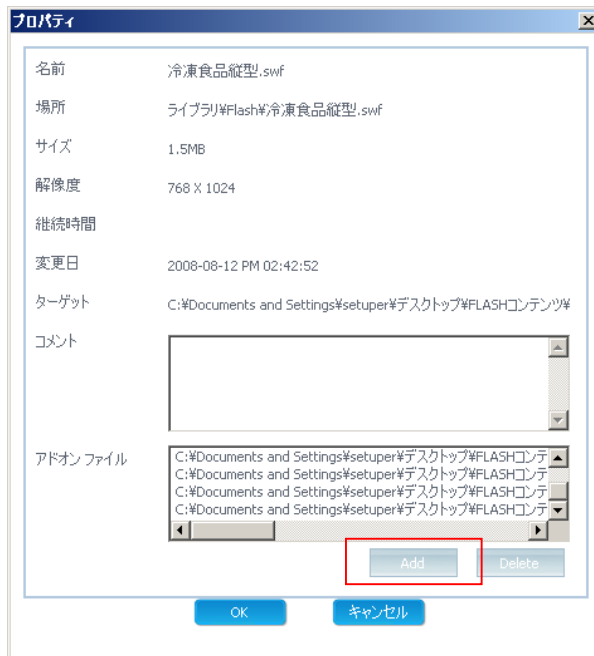
以下のようなポップ・アップメニューが表示されます。右下の“ADD”のボタンをクリックします。



さらに下のようなポップ・アップメニューが現れ、登録用PCの中にあるファイルのエクスプローラーとして機能します。特定の複数の(最大20ファイルまで)付随するためのファイルを選択し、“開く”を選択します。



以下のように、プロパティ画面にアドオンファイルが追加されたことを確認して、“OK”ボタンをクリックすると、付随するファイルが主となるコンテンツファイルのプロパティの中でアドオンファイル(追加関連ファイル)として登録されます。

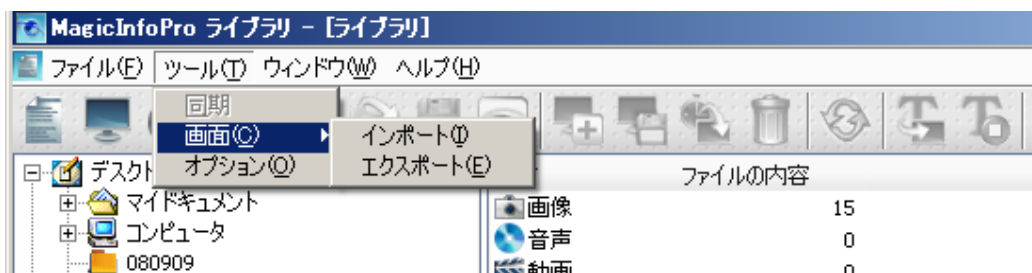


2. スクリーン インポート・エクスポート機能の追加

この機能は、MagicInfoPro ソフトウェアを使用して制作した画面分割等のスクリーンデザインのバックアップを取る場合や、本部から複数の支店に対してコンテンツを配信するような場合、本部の登録用 PC で作成したスクリーンデザインの一部のみまたは表示時間設定のみを、支店にある別の登録用 PC で変更したいような場合に大変便利な機能です。

- * 従来のバージョンでは登録用の PC で制作したスクリーンデザインは他の PC で修正をしたり、スケジューリングを変更するようなことはできませんでした。
- * 通常、スクリーンデザインを包含するファイルは“.scn”という拡張子のファイルに格納されますが、EXPORT/IMPORT する際にはこのファイルが“.scp”という拡張子のファイルに変更されて扱われます。
- * 上記“.scp”ファイルの中にはスクリーンデザインの情報と付随する画像や動画、FLASH 等のコンテンツファイルが圧縮してひとつのファイルに格納されます。

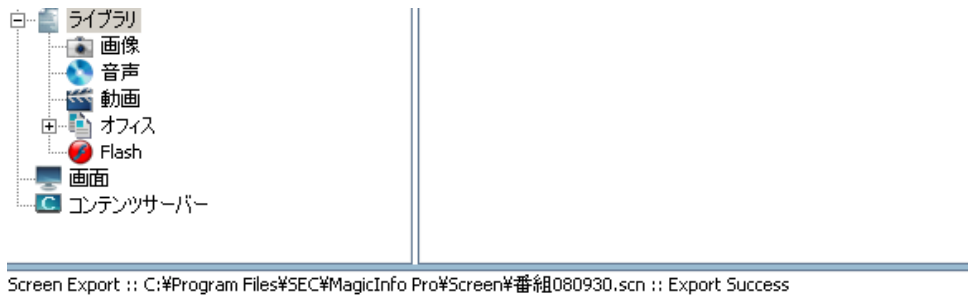
ライブラリメニューの中で、ツール 画面 エクスポートを選択します。



以下のようにエクスポートのためのポップ・アップメニューが表示され、登録されている番組のリストが表示されます。任意の番組を選択し、“開く”をクリックします。

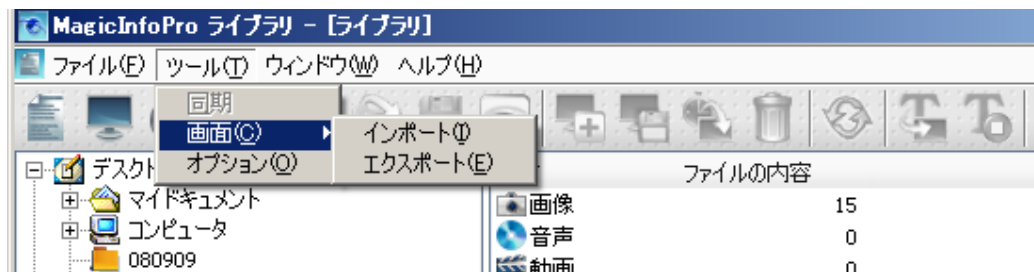


以下のように番組のエクスポートが完了したことがライブラリ画面の下に表示されます。



エクスポートされたファイルは、以下のフォルダに書き込まれます。このフォルダの中に生成された“.scp”という拡張子のファイルをUSBメモリやメールを使って他の登録用PCに転送することができます。
C:\Program Files\SEC\MagicInfo Pro\Export

インポート機能: 上記の方法と使ってエクスポートされたスクリーンデザイン情報である“.scp”ファイルを、今度は別のPCにインストールされた MagicInfoPro ソフトウェアを使用してインポートします。まず、ライブラリ機能のメニューで、ツール 画面 インポートを選択します。

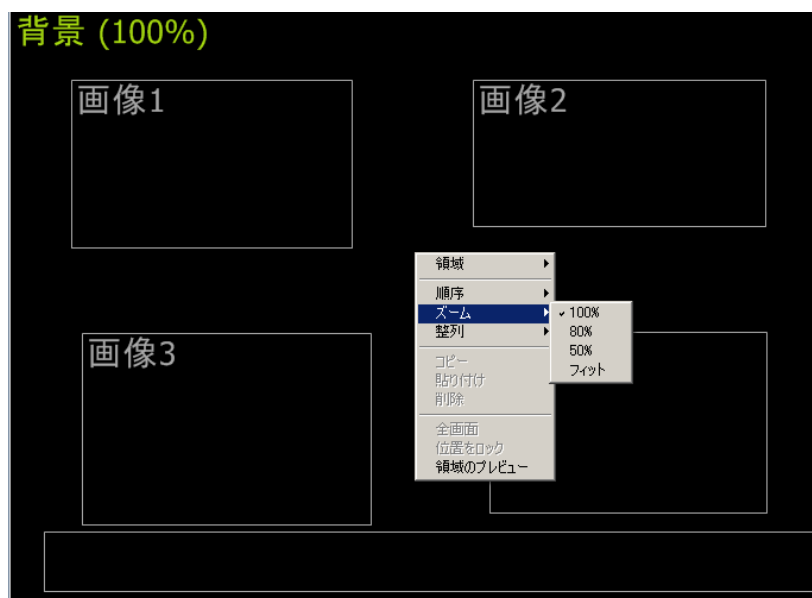


以下のようにエクスプローラ機能のポップ・アップメニューが表示されますので、任意の場所に置かれた上記のスクリーンデザイン情報のファイルである“.scp”ファイルを検索し、“開く”をクリックします。これでインポート機能の完了です。(番組データがすべてインポートされます。すべての付随する静止画や動画等のコンテンツファイルも自動的にライブラリ登録がされます。)

3. プレビュー画面の改善

従来はプレビュー画面でスクリーンの全体像を一度に表示することができませんでしたが、今回の機能改善により、スクリーンの全体像を表示できるようになりました。

以下のようにスクリーンデザインのためのキャンバス上で右クリックをすると“ズーム”が表示されます。表示画面サイズを100%・80%・50%と選択することができます。フィットを選ぶと、縦横比を調整しながら画面上に最大化するように表示されます。



画面上部にある目かたちのアイコンを選択して表示するプレビュー機能の時は常にスクリーン全体をスクロールすることなく表示できるようになりました。

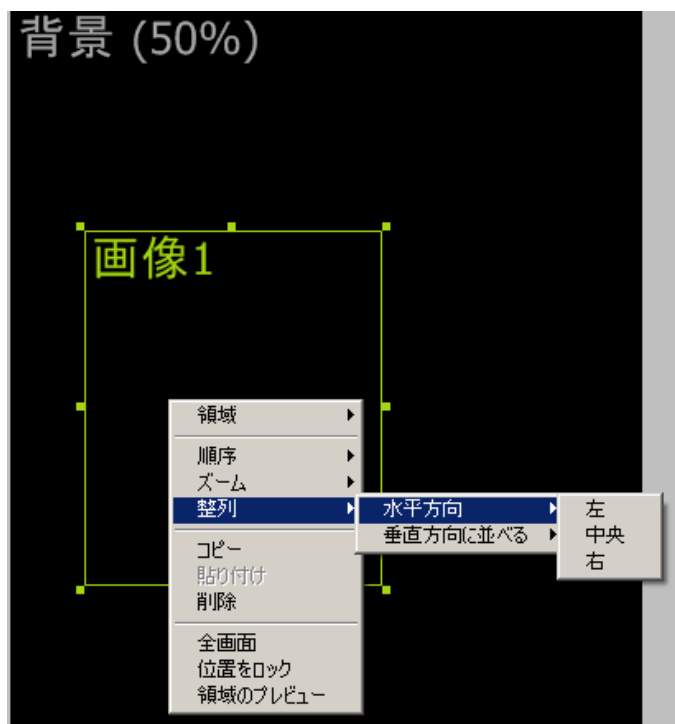
4. 整列機能の追加

スクリーンデザインの時のコンテンツファイルの位置の調整が簡単にできるように新たに整列機能が追加されました。

スクリーンデザインのためのキャンバス上に配置されたコンテンツファイルの位置情報を示すグリーン
の四角い枠の上で、右クリックをすると、整列のメニューが新たに追加されたことが確認されます。

(A)水平方向と(B)垂直方向に並べる、の2つが表示されます。水平方向の左・中央・右を選ぶことにより横位置で、各々左端、中央、右端に自動的に調整することができます。

垂直方向に並べるを選択し、上・中央・底を選ぶことにより、縦位置で、各々上端、中央、下端の位置に自動調整することができます。



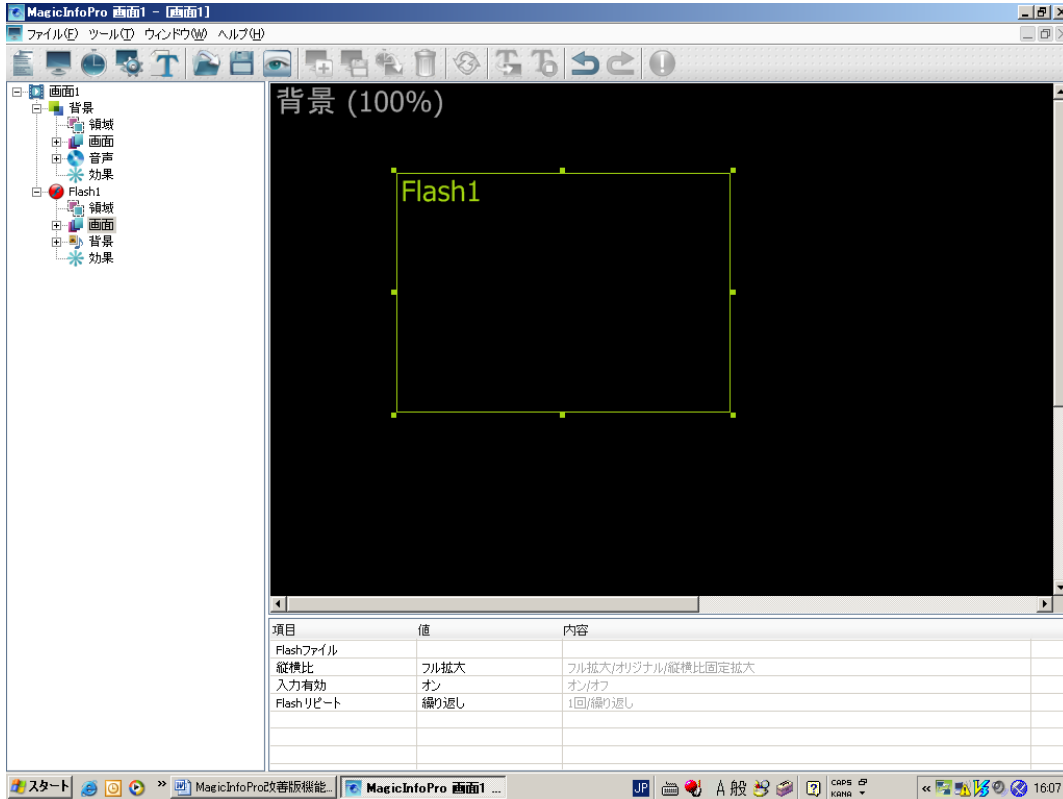
5 . FLASHコンテンツ再生機能の強化

FLASHコンテンツ再生機能が強化されました。

複数のFLASHコンテンツをひとつの画面エリアに登録することができるようになりました。

FLASHコンテンツの再生時、一回のみの再生か、オートリピートをさせるかの設定ができます。

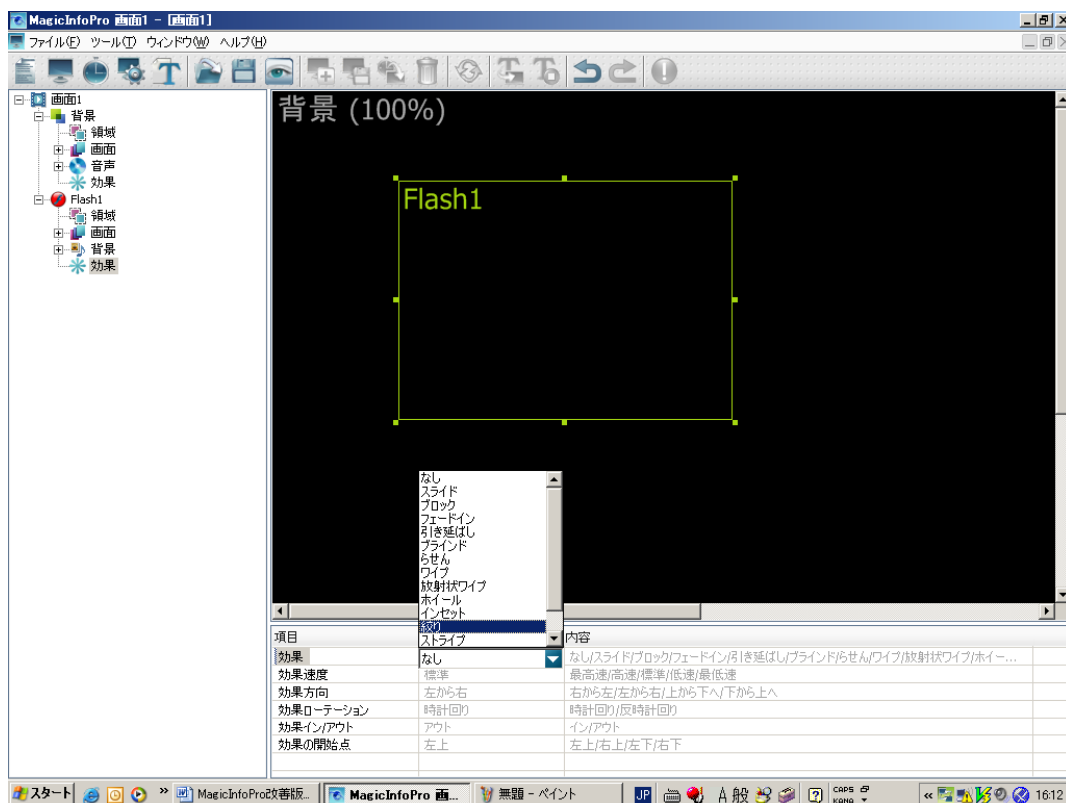
FLASHコンテンツに付随する複数のコンテンツファイルをリンクづけて登録することができるようになりました。



6. デジタル効果機能の強化

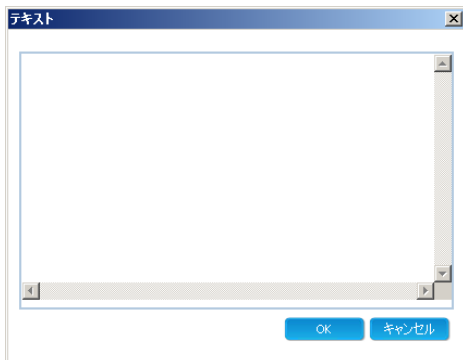
デジタル効果機能が強化されました。

従来のスライド・ブロック・フェードインに加え、引き伸ばし・ブラインド・ワイプ・放射状ワイプ・ホイール・インセット・絞り・ストライプ・プッシュ・ランダムなどのデジタル効果機能が追加されました。デジタル効果に対して効果速度、効果方向、効果ローテーション、効果イン/アウト、効果の開始点がそれぞれ選択・設定・調整できるようになりました。



7. テキスト入力用ポップアップウィンドウの追加

従来はテキスト入力の際に狭い枠の中で文字を打ち込まなければなりませんでした。新バージョンではテキスト入力の際に、別に広いテキスト入力用ポップアップウィンドウが表示されるようになりました。



8. ライブラリ登録コンテンツファイルのソート機能追加

ライブラリ登録コンテンツファイルを名前・サイズ・タイプ・作成日・変更日によってソートができるようになりました。ソート機能を使うことでファイルの検索が容易になりました。同様のソートはスクリーンデザインの画面でも、ファイル登録時にポップアップウィンドウの中で行うことができます。ソートの方法は名前・サイズ・タイプ・作成日・変更日のタブをクリックするだけです。



以上